

千代田界隈のレトロな風景



鯉のぼり

小振りな鯉が気持ちよさそうに泳いでおりました。
(千代田四丁目、千代田保育園にて)

みどりの風



2016.5.1

-NO.212-

人・ひと日記

小林 功

千代田デイサービスセンターがスタートした時からほぼ毎日、どの職員よりも高い出席率でデイに来てボランティアをしてくれた片山さんが亡くなって二か月が経ちました。片山さんは音楽を通しての地域活動を長年にわたってやって来て星が丘の鼓笛隊の世話役やボランティアの有志を集めた音楽会の開催に尽力されてきました。そんな片山さんを追悼しようと星が丘高齢者支援センターの吉岡さん達の手で「星が丘のベートーベン」という小冊子が作られました。ベートーベンとは片山さんが自分を紹介するとき照れながら使っていた名前です。そのベートーベンがキーボードを演奏する時、おもむろに人差し指を立ててその一本指でポロンポロンと弾きはじめるエピソードも書かれています。「なんてったってベートーベン!」・・・本物にはおよばない演奏でしたが一生懸命の姿が目に見えます。「いいじゃない。楽しくやろうよ、難しく考えないでさ」・・・音楽が人の心を動かし、繋げていく可能性を信じてやってきた片山さんの最後のメッセージだと思っています。

デイサービスを利用されていたSさんが亡くなられました。九十五歳でした。Sさんは私の父母と同じ時期に相模原へ移ってこられ荒れた土地のなかで苦労された仲間です。父母とは仲良くしてくれていて思い出話をよくしてくれました。知らなかった話、思い出した話、楽しい話ばかりでした。亡くなった親のことを覚えていてくれる人がいることはうれしいものです。時がたてば自然にそういう人も減っていき自分を知っている全ての人が居なくなりました。・・・それが本当の死なのかも知れない・・・などと考える時があります。

この時期「メメント・モリ 死を想え」という呼びかけのイベントが行われます。命がざわめく春です。

発行 社会福祉法人悠朋会

相模原市中央区千代田2-4-1

千代田デイサービスセンター

042-751-0672

ヘルパーステーション千代田

042-704-0261

千代田介護支援センター

042-704-0281

千代田相談支援センター

042-707-1434

ホームページアドレス

www.yuhokai-kaigo.com



第8回千代田ふれあいコンサート

歌とピアノの ゆりかご音楽会

祝 長男幸太郎君 誕生！千代田職員であった
叶友理子さんの音楽活動再開ライブ

5/13.FRI 18:00 開場 18:30start

TAX FREE / 入場無料

■休憩時間に軽い飲食のサービスがあります。
■予約制です。50席で締め切りです。
042-704-0261
ヘルパーステーション千代田まで
お申し込みください。

踊るマジシャン
ミスターTKも
出演します

出演 叶友理子

場所 千代田デイサービスセンター 3F

今回も会場では「震災被災地支援カンパ」と
「タイガーマスクになりましょう募金」を募り
ます。皆様の御協力お願いいたします。

社会福祉法人 悠朋会 ☎252-0237 相模原市中央区千代田 2-4-1

千代田
ふれあいコンサート
お申し込みは
042-704-0261
ヘルパーステーション
千代田まで

こんにちは 私が千代田の厨房職員です



矢加部典子
出身：佐賀県唐津市

先輩のご紹介で千代田にお世話になって6年目です。私は佐賀県出身です。佐賀は福岡と長崎に挟まれた地味な県です。でも有田焼等の食器の産地で有名です。お皿への盛り付け等も工夫しながらこれからも皆様の「美味しかったよ」の笑顔を励みに頑張ろうと思います。

市民交流スペースのご案内

5月の予定

水墨画展

大石玉枝





待ち遠しかった春を迎え、綺麗な花が咲き誇る市内の公園に出向いての外出りハビリを行いました。季節の花々を眺め、外気に触れながら行うリハビリはつつい足取りが軽くなり、いつも以上に歩くことが出来ました。また季節感を肌で感じることで良い刺激となり、帰る頃にはみなさんの表情はとても良くなりました。今後もこのような機会を設けていきたいと思います。

5月の予定

しょうぶ湯	1日(日)～7日(土)
風船バレーボール大会	5日(木)～11日(水)
体重測定	9日(月)～15日(日)
書道	16日(月)、19日(木)
ハーモニカ	17日(火)
交流会	18日(水)、20日(金)
折り紙	19日(木)
ビュッフェ	24日(火)
誕生会	25日(水)～31日(火)
シナプソロジー	29日(日)



風もなく暖かい日に卒業式を迎えることができました。

この日は千代田の担当ヘルパーに行ってもらいました。

色々準備もあり、また直前にインフルエンザになるハプニングもありましたが無事に出席する事が出来ました。

この日を迎えるまで早かったなあというのが実感です。

毎日の暮らしをひとつずつこなしていくうちに小学校も終わってしまい、一人で何も出来なかった子だったのに、今では私の介助を自然にしてくれるようになりました。たまには私から頼むと文句を言うこともあるけれど、ヘルパーより上手にやってくれることもあります。

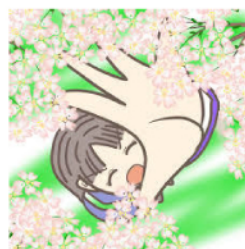
産まれた時からずっと私の事を見ているからだと思います。

やっと歩くようになった頃から今に至るまで私を踏んだ事ありませんが、甘えたり、ふざけている時には遠慮せずに体当たりでくるので、自分の身体を支えるのに苦労することがありました。

私がリビングなどで毛布を掛けて横になっていても、手や足を踏んだことが一度もないのは私も不思議に感じています。

これからの事は具体的には考えていませんが、人の迷惑にならないようにとだけは思っています。

これから先も元気で仕事も子育ても楽しく送れたら良いなと思っています。



担当ヘルパーW・Mより追伸

言語障害もありなので常に文字盤を利用した会話をさせて頂いています。一切文字盤を使うことなくスムーズにお母様とお話しされています。

これについて菊池様に伺ったところ「幼い頃、秋風が吹いていた夜に窓を開けると外で猫の鳴き声を聞いて「ママ、お友達が呼んでいるよ」と言った事があった」と笑って話して下さった事がありました。

子供達は言葉を知る前に音を覚えるのかなと思いました。

今もお母様の言葉を「音」として正確に捉えられているのかもしれない。

ただ最近では質問の内容が難しくなってきた、菊池様はケータイ電話で文章を作って返事をしてるそうです。

ケアマネのつぐやき

音楽療法が脳を活性化させる

今回は音楽療法についてです。

音楽療法は、好きな音楽を聴く、カスタネットやタンバリンなどの簡単な楽器を奏でる、歌に合わせて踊る、カラオケで歌うなど、音楽を通じて脳を活性化させるリハビリテーション法のひとつです。脳を活性化させるばかりでなく、気持ちを落ち着かせるリラクゼーション効果もあり、食欲が増す、ぐっすり眠れる、笑顔が増えるなどの好ましい結果を生み出しています。そのため、認知症患者が利用する多くの施設で実施されています。



音楽は「記憶の扉を開けるカギ」とも言われており、子どものときに歌った唱歌や若いころに流行した曲を選ぶと、回想法と同様に昔のことを思い出して、さらに脳を活性化させる効果も期待できます。



編集後記

四月で三十八回目の誕生日。私の年齢はミミツです。子どもの誕生日には、年齢に百円をかけて渡しています。四番目の子は五月で六歳。六百円の使い方を今から考えているようです。『お菓子かなあ。ボールかなあ』とお風呂で言っていました。H